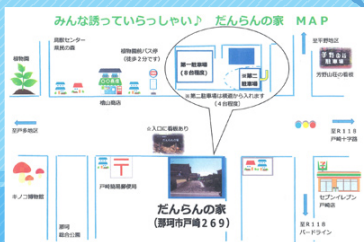


4 だんらんの家

サロン運営団体名称 **だんらんの家**

サロ ン 開 設 年 月	平成29年 2月
開催日及び開催頻度	月2回(第2・第4水曜日) 13時30分～15時30分
開 催 拠 点	311-0121 那珂市戸崎269
代 表 者 氏 名	黒沢 二三
1 回 の 参 加 人 数	平均 5人
1回の運営スタッフ数	平均10人
参 加 費 (1人1回あたり)	200円程度

那 珂 市



目 的 (趣 旨)

- 誰もが気軽に集まれる居場所づくりを実施。場を通じてそこに集う方たちがお互い支え合う関係づくりを進める。
- 交流のきっかけとなるイベント等を継続的に実施。参加者・協力者を増やす。

生活課題への対応

- 家族に介護者があり気軽に自らの想いを打ち明けられない方や体力の低下等により地域活動には参加しづらい高齢者等、場に集う方がお互いの想いを語りあったり、そこから新たな活動が生まれるよう支援している。
- 現状の活動に加え、社協や地域包括支援センター等の関係機関と定期的に意見交換を行い、気軽に相談できる体制づくりや課題と一緒に語り合える場として拡大を図る。

～住民主体のみんなの居場所～
ようこそ、だんらんの家へ。
ここは居場所であり、想いのやりとりの「居場所」づくりをしています。互いの想いを語り合える場として、互いに支え合う関係づくりを進めています。

開催日	開催時間	開催場所
4月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
5月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
6月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
7月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
8月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
9月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
10月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
11月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269
12月	11時30分～13時30分	那珂市戸崎269

内 容

- 対象：家族に介護者があり気軽に自らの想いを打ち明けられない方。体力の低下等により地域活動には参加しづらい高齢者 等。

内容：集まる方がホッとできる居場所づくりを実施。



- ・広報活動を強化。
- ・対象者が集まりやすいイベント等を実施。(趣味、健康増進等の講座実施)

社会資源の活用

- ボランティア、地域包括支援センター、社協、自治会、古民家、畑など。
- 庭や縁側の手入れ、建屋内の清掃をすすめ、より交流が促進できるよう整備。

継 続 性

- 参加費徴収、定例会の実施、作物の栽培、那珂市社会福祉協議会による運営支援。
- 参加者から居場所づくり協力者を募る。
- 畑で作った作物を庭先で売るなど。

財 源 の 確 保

- 参加費徴収。
- 助成を受けることで広報強化およびイベントの開催を実施。イベント開催に合わせてバザーや、畑で採れた野菜の販売などを実施し、運営財源の確保に努める。

P R ポ イ ン ト

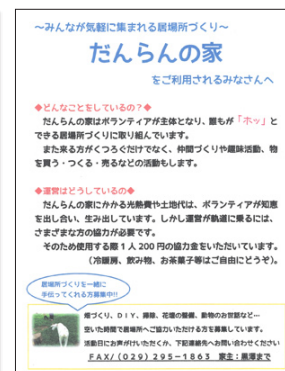
- 来てくれる方の声を聞いてくれる方が大勢います。
- 年間のイベントを決めているので、興味のあるイベントに参加できます。
- 参加を限定したり会員を作らないので、自分が参加したいときに立ち寄ることができます。
- 集まりには毎回、手作りのデザートや漬物が並びます。ぜひ、あなたもお気軽に立ち寄りください。

先 進 性

- 地域や年齢、立場を限定せず、誰もが気軽に集える場づくりを実施。
- 集まってくる方が、来ているうちに自然に運営に変わり、活動に生きがいを持てるよう、巻き込んであげる取り組みを実施する。

独 自 性

- 決まった活動を単純にローテーションで実施するのではなく、集まる方の想いで対象者や活動が拡大・展開できる。
- 集う方の趣味や特技、これまでの知識、経験を活かし、運営を活性化。集う方同士の生きがいづくりへつなげていく。



これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

- 始めたくてもなかなか一人では難しいこともあります。そんな時は、一人で悩まず友達やボランティア仲間、社協の人などに応援を頼むとうまくなります。また、参加者を増やすには食のイベントがあると集まりやすいです。美味しいものを食べながら、楽しみなから集まる仲間とともに徐々に活動を充実してみてください。応援しています。

★ 助成金の活用によりパワーアップした活動

- 助成金で印刷機を購入、手作りのチラシを印刷して近所や知り合いに広く配布できるようになった。また参加者が持ち寄った健康情報のチラシや興味を持ちそうなイベントの内容もコピーできるので、集まったひと同士でも情報を共有できるようになった。
- 助成金を得るまでは、イベントの開催費や講師費用に困っていたが、イベントありきでどのように参加者を増やそうか、楽しく活動できるか前向きに活動を考えられるようになった。